

Profile



星野 英子(ピアノ)

Hideko Hoshino-Usami / Piano

高校卒業と同時に渡欧、ウィーン国立音楽大学ピアノソリスト科Konzert-fachに入学、在学中は学内外の演奏会に選抜され多数出演する。同大学8年課程を4年の在籍で卒業。優秀な成績でDiplomを取得。ピアノをアレキサンダー・イェンナー、ハンス・グラーフ、ヨゼフ・ディヒラー、瓜生幸子の各氏に

師事、室内楽をワルター・パンホーファー、フランツ・サモヒルの各氏に学ぶ。卒業後はウィーン国立音楽大学管楽器科伴奏講師を経て、フォラルベルク州ホーエンエムス音楽学校、ブレーゲンツの森音楽学校講師の傍ら演奏活動を続けた後、帰国。

1984年ウィーン・エレナ・ロンプロ・シュテパノフピアノコンクール第3位、1985年、1989年ウィーン国際ベートーヴェンピアノコンクール入選/ディプロム、1990年ミュンヘン国際音楽コンクール ピアノ+ヴァイオリンDuo部門セミファイナリスト。リサイタルは、1985年アウグスティヌスザール(ニー

ダーエスタライヒ)、1989年パリオホール、1991年府中の森ウィーンホール、1992年卡ザルスホール、徳島市大塚ヴェガホール、2000年リサイタル「幻想」/オペラシティリサイタルホール、2001年リサイタル「R.シューマン・色とりどりの世界」/オペラシティリサイタルホールにて<宇佐見英子ピアノリサイタル>を開催、2007年にはリヒテンシュタイン音楽学校コンサートホールにて演奏し好評を博す。

また、これまでに東京ユースフィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェン/ピアノ協奏曲第3番、モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番、青陵ウィンドオーケストラとラプソディ・イン・ブルーを演奏。室内楽では、ピアノと木管五重奏VEGA(舞恵雅)のピアニストとしてCD「剣の舞とだっかん人の踊り」をリリースし、各地で演奏活動を展開する他、東京吹奏楽団ジョイフルコンサートなど、多くの国内外の器楽奏者と共演する。1994年より現在、洗足学園音楽大学客員教授ペーター・シュミードル氏(元ウィーンフィル首席クラリネット奏者)アシスタントピアニスト。2004年より昭和音楽大学講師。伴奏講師として多くの新人演奏会、コンクールでの伴奏等、若手の器楽奏者の育成に貢献するなど、後進の指導にあたっている。東京都八王子市在住。ローランドレコーダーRoland R-05モニターアーティスト。

<http://www.roland.co.jp/recorder/R-05/index.html>

星野英子ピアノリサイタル「ウィーンの夢・光と影と芳醇な香り」と……………那須田 務(音楽評論家)

星野英子さんといえばウィーンだ。高校卒業とともに渡欧して、ウィーン国立音楽大学に学び、卒業後ソリスト、室内楽奏者として活躍した。こうした背景を持つ星野さんのピアニズムは、洗練された技術と音楽性に裏打ちされると同時に、歌心と色濃い叙情味に溢れるもので、そこここにウィーンを感じずにはいられない。

室内楽にも定評がある。それは卒業後しばらく母校の伴奏講師をしていたことや、親子3代にわたってウィーン・フィルの首席クラリネット奏者を務めるペーター・シュミードルに共演者として篤い信頼を寄せられていることから頷けよう。

そんな星野さんが、ウィーンをコンセプトにしたリサイタルをひらく。ベートーヴェンの晩年のソナタの他は、19世紀末から20世紀初頭の作品だ。根強い保守主義者たちのなかでベルクやシェーンベルク、ツヴァイク、ココシュカら若い芸術家たちが台頭し、稀にみる文化の桃源郷が花ひらいた、あの世紀末ウィーンの音楽である。ツェムリンスキーの三重奏曲も楽しみだ。それこそまさに、「世紀末ウィーンの雰囲気を含めた」(オットー・ピーバ)珠玉の室内楽曲なのだから。



ペーター・シュミードル (クラリネット)

Peter Schmitt / Klarinette

祖父、父と3代にわたってウィーン・フィルハーモニーの第1クラリネット奏者。ウィーン国立音楽大学でR・イエッテル教授に師事。1965年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、68年ウィーン・フィルハーモニーの第1クラリネット

奏者、82年に第1首席奏者となる。ソリストとして各国のオーケストラと協演するほか、室内楽の分野でも著名なアンサンブルのメンバーとして世界各地で演奏を行う。グラモフォン、デッカなどのレーベルに多くの録音がある。ウィーン国立音楽大学教授を長く務め、多くの門下生が世界各国のオーケストラで活躍している。日本においても、トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーンの芸術監督や、草津夏期国際音楽アカデミー、PMF音楽祭、洗足学園音楽大学客員教授として、グローバルに音楽活動を続けている。



藤村 俊介(チェロ)

Syunsuke Fujimura / Violoncello

桐朋学園大学音楽学部卒業。チェロを安田謙一郎氏に師事。日本演奏連盟賞受賞。第58回日本音楽コンクール・チェロ部門第2位。1989年、NHK交響楽団入団。1993年、アフィニス文化財団の奨学生としてドイツに留学し、メロス弦楽四重奏団

のペーター・ブック氏に師事。これまでにソロCD「バラ色の光り輝く雲が、ゆったりと流れ」「カサド無伴奏チェロ組曲」「ダンツァ・エスパニョーラ」等をリリース。現在、NHK交響楽団次席奏者、フェリス学院大学非常勤講師、桐朋学園大学非常勤講師、洗足学園大学客員教授、チェロ四重奏団「ラ・カルティエナ」メンバー。

会場 Information

杉並公会堂小ホール

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

